

【図画工作科の目標は…】

「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」ことです。

【5年生では、こんな力を育てます】

★創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。	★材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。	★親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。
---	--	---

口田小学校では特に…

- ①工作（木・紙・さまざまな材料を使って）、バランスを考えて学習する内容を考えていきます。
- ②子どもたちが興味をもち、つくりだす喜び・楽しさを味わえるような活動を計画していきます。
- ③自分や友だちのよさに気付くことができるように、まず自分の作品を振り返り、その後子どもたち同士で作品を鑑賞し合う時間を確保します。

【評価について】

★5年生の図画工作科は次のようなことをみて評価をします。

自分の思いをもち楽しんでつくりかいたりしようとしているか

想像力を働かせて自分の表現したいことを工夫して表そうとしているか

自分の表現したい意図や周りの様子に関連づけて材料や用具を使い、表し方を工夫しているか

造形作品などにふれ、作品のよさや美しさを感じ取っているか

★次のような方法を組み合わせて評価していきます。

- ・学習への意欲や関心
- ・作品
- ・授業中の態度、発言
- ・鑑賞カード
- ・構想、下書きなどのメモ
- など

月	学習内容	学習のねらい
4	○ 自分の顔をみつめて	○ 絵の具の色を混ぜ合わせ表現したい色をつくりだすことができる。
	○ え？名前で絵	○ 名前の文字をもとに発想を広げ、形や色をくふうして表す。
	○ めのから生まれた形	○ やわらかなめものあつかい方を工夫してつくりたい形を立体に表す。
	○ 楽しく美しく伝えよう（ポスターで表す）	○ 伝えたい内容に合わせ、表現方法を工夫してポスターをつくらることができる。
	○ 不思議な絵	○ 見ることのおもしろさに気づき、絵画作品を見ることに関心をもつ。
	○ ねん土の板から	○ 板の形にした粘土を変形させることから想ぞうを広げて、空想の生き物をつくる。
	○ 感じたことを伝えたい（絵手紙）	○ 身の回りを見つめ、感じたことが伝わるように工夫して絵に表すことができる。
	○ 板を切りぬいて（ゆかいなパズル）	○ 電動糸のこぎりを使って、楽しく亜音ダリかざったりするものをつくらることができる。
	○ 本物そっくりに	○ 場所との関係を考えながら、意外性のあるものをつくる。
	○ くねくねアート	○ アルミはり金の曲げ方や立たせ方を工夫して、美しいタワーをつくらることができる。
	○ 刷り重ねて表そう	○ 彫刻刀を適切に使い、心に残ったことを多色はんの特徴を生かして表すことができる。
○ アニメーションをつくろう	○ 動きが連続して見える仕組みを使って、楽しい作品を作る。	

【おうちの方へのお願い】

★作品をつくるにあたって、材料をおうちで用意していただく場合もあります。事前にお知らせしますので、できる範囲で用意をよろしくお願いします。

★できあがった作品は教室に展示・掲示します。参観日等で学校に来られる際にはぜひご覧ください。その後、おうちに帰られてから子どもたちに一言声をかけていただけると、子どもたちの次への意欲につながるのではないかと思います。

